

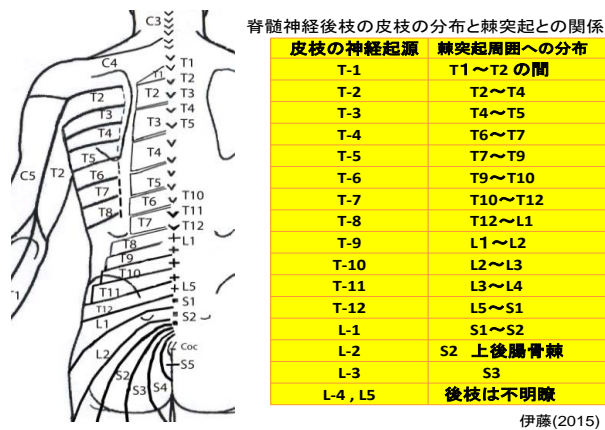
「教育講演」 愈穴・募穴の臨床 体性-自律神経反射との相関
日本良導絡自律神経学会会長 伊藤樹史

デルマトーム(dermatome)とは、単一脊髄神経の前枝と後枝の分節的な皮膚分布領域である。デルマトームが視覚的に確認できる疾患は帯状疱疹である。足太陽膀胱経にある愈穴の東洋医学的解釈とは、五臓六腑の病変が躯幹に関連して現れる部位(点)である。膀胱経が2列で作り上げたことには、その重要性を物語るものである。先人達は3000年以上前に、愈穴は脊髄神経の後枝、募穴は脊髄神経の前枝として区別し、正確な位置と内臓の名称を決定した事実は驚きである。愈募穴の西洋医学的解釈は、内臓病変の不定愁訴や関連痛が出現する領域(点)を示したものである。これは、内臓-体性反射、あるいは、体性-自律神経反射の反応に関連する領域に相当する。愈穴は本学会の調整療法のI型で用いるが、良導絡学会に特化した治療法ではない。内臓由来の不定愁訴や自律神経症状の治療点としてすこぶる有用なのである。愈穴と募穴は愈募関係にある。これは同じデルマトーム領域に存在していることから、両方を治療に用いると効果的であるとされている。愈穴の解剖学的位置は棘突起外側の傍脊椎にあって解りやすいが、募穴は少し離れているので確認しづらい。かつて、東洋医学領域で、愈募穴と内臓由来の分節的侵害神経の求心路との関連について、旧デルマトームを用いて検索したところ、愈穴は3~4椎体尾側にずれを認め、デルマトームとの一致度は確認できなかったと報告されている。演者はその原因は、旧デルマトームでの比較が原因だろうと考えている。当時は正確なデルマトームが存在しなかったのが当然である。そこで、演者の作成した新デルマトームを用いて、各愈穴を棘突起高に定め、内臓神経の求心路が新デルマトーム上に出現する領域と比較したところ、すべてが一致した。これは、各愈募穴が内臓-体性(皮膚)反射(或いは、体性-自律神経反射)の現れる領域とが一致したという検証に相当する。針治療を行う立場からみると、これは体性-自律神経反射を用いた治療法と言い表せる。自律神経調整療法は恒常性維持の力を引き出す治療法に他ならない。さらに愈穴の中には臓器を特定できていない、闕陰愈と三焦愈があるが、これについても同様な方法で臓器を推定してみた。闕陰愈とは脾臓(T6~T10)と推測できた。わずか、1椎体の誤差であるが、交感神経の内臓神経分布では一致している。三焦愈(L1~L2)は前立腺(T11~L1)、或いは副腎(T8~L1)の両者を推測できた。演者は腹腔神経叢(T5~T10)の関連性の深さから副腎を強く推薦したい。先人達が作成した愈募穴は神経解剖生理学的に正確な位置にあった。ことは大きな成果であった。

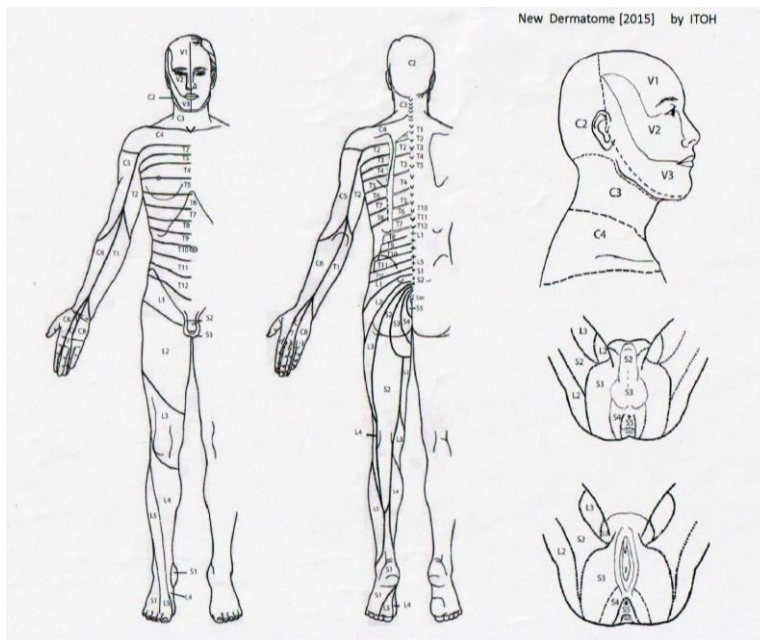
次に、体性-自律神経反射を用いた針治療の効果について観察した。頭部を除いた

生体刺激は軀幹刺激と四肢刺激である。四肢の経穴の効果と軀幹の経穴(愈穴、募穴)の効果と、そして、任脈と督脈の治療の効果について調べてみた。愈穴のみに限らず、経穴の殆どの作用は自律神経症状に対する効果であった。本邦の自律神経研究者である佐藤昭夫博士は自律神経に関する膨大な研究成果がある。愈募穴とデルマトームと内臓求心線維との関連性を考えるとき、佐藤昭夫博士の「体性-自律神経反射の理論」は自律神経と経穴を中心とした治療を展開する本学会の基本理念と一致するので、本学会としてはこの理念を受け入れたい。本発表の利益相反に関しては、開示すべき事項はqqqない。

後枝と棘突起との位置関係を示す



新デルマトーム



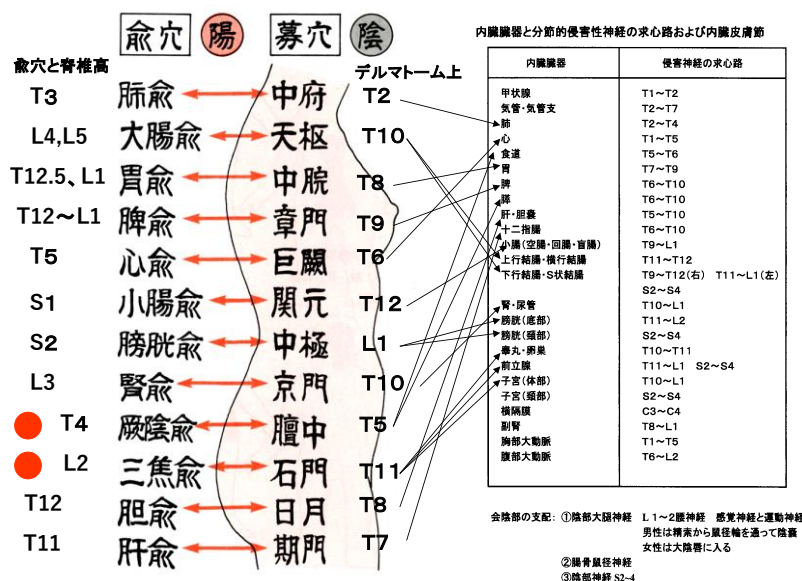
①、②は王晓明先生と木下晴都先生の俞募穴位置を棘突起の高さで示している。
 ③は内臓求心線維の脊椎高。④は③の求心神経のデルマトームに分布領域を棘突起高で示した。

検証の方法は①と③の比較ではなくて、①と④との比較が正しい。

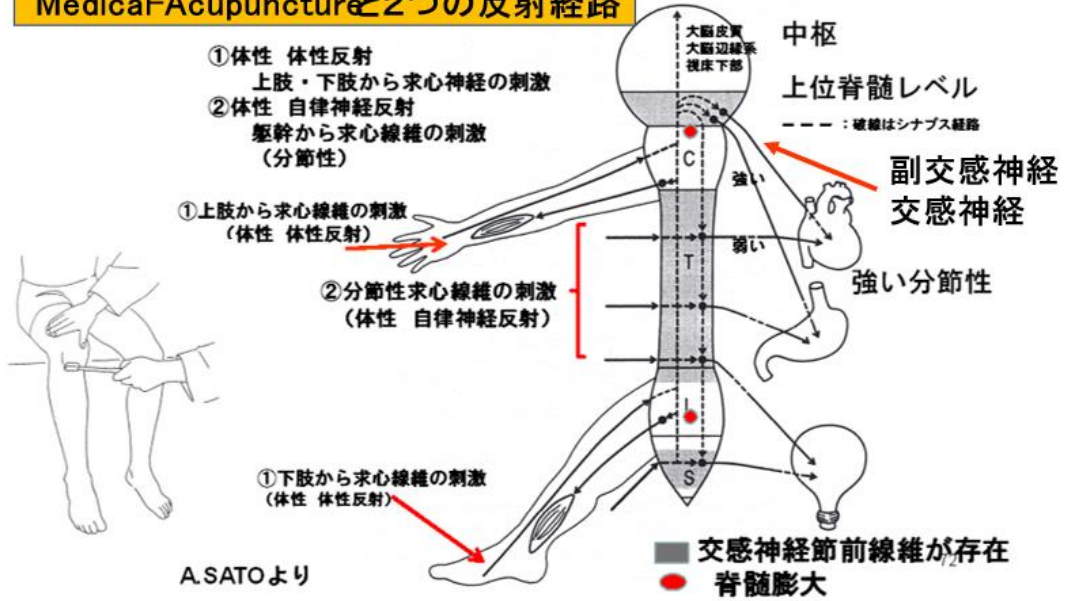
内臓神経求心路と俞穴・募穴

著者別経穴の位置

①		②		③		④	
王晓明	木下晴都	俞穴	相对臓器	求心路の脊椎高	後枝の棘突起高		
T3	T3	肺俞	肺	T2~T4	T2~T7		
L4	L5	大腸俞	大腸	T9~L1	L4~L5		
T12.5	L1	胃俞	胃	T6~T9(10)	T11~L2		
T11.5	T12.5	脾俞	脾臓	T6~T10	T10~L3		
T5	T5	心俞	心臓	T1~T5	T1~T8		
S1	S1	小腸俞	小腸	T9~L1	L2~S1		
S2	S2	膀胱俞	膀胱	T11~L2、S2~S4	L4~S2		
L2.5	L3	腎俞	腎臓	T10~L1	L3~S1		
T4	T4	厥陰俞	?	?			
L1.5	L2	三焦俞	?	?			
T10.5	T12	胆俞	胆嚢	T5~T10	T10~L3		
T9	T11	肝俞	肝臓	T5~T10	T10~L3		



Medical Acupunctureと2つの反射経路



経穴刺激と自律神経恒常性への回帰

経穴はデルマトーム上に存在

